



**AXELMARK**

# 決算説明資料

2020年9月期第2四半期

2020年5月14日 アクセルマーク株式会社 (東証マザーズ 3624)

1. 2020年9月期 2Qサマリー
2. 2020年9月期 2Q業績概要
3. 各事業の状況 & 事業戦略

1. 2020年9月期 2Qサマリー

2. 2020年9月期 2Q業績概要

3. 各事業の状況 & 事業戦略

売上高

**698** 百万円

(前四半期 : 736百万円)

営業利益

**▲195** 百万円

(前四半期 : ▲249百万円)

## 2020年9月期 経営方針

不採算事業からの撤退、将来性のある事業へのリソース再配分

新成長分野（**ブロックチェーンゲーム関連事業 & IoT**）への経営資源の集中

- ADrouteは、過去最高の単月売上高を更新
- トレーディングデスクは、運営体制を見直し収益化へ
- コンサヴァ※を1月23日に正式サービス開始し、クラウドセール実施
- 30自治体にて積雪深センサーの実証実験完了。商用サービス、有償実証実験を準備
- くじコレのサービス移管の準備（移管日：5月1日）

※ コンソールサーバント-CARD GAME-

1. 2020年9月期 2Qサマリー

2. 2020年9月期 2Q業績概要

3. 各事業の状況 & 事業戦略

# 損益計算書四半期推移



広告事業が好調に推移し、ゲーム事業への投資を抑制し  
売上減少したものの営業損失は縮小

単位：百万円

	前期		当期	当期	QonQ
	3Q	4Q	1Q	2Q	差異
<b>売上高</b>	735	715	736	<b>698</b>	▲38
売上原価	745	740	755	760	+5
<b>売上総利益</b>	▲9	▲25	▲19	<b>▲62</b>	▲43
販売管理費	173	202	230	132	▲98
(うち広告宣伝費)	(6)	(37)	(44)	(6)	▲38
<b>営業利益</b>	▲183	▲227	▲249	<b>▲195</b>	+54
営業外収益	0	0	0	12	+12
営業外費用	3	7	4	4	▲0
<b>経常利益</b>	▲185	▲234	▲252	<b>▲187</b>	+65
特別利益	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	194	-	▲194
<b>税金等調整前当期純利益</b>	▲185	▲234	▲447	<b>▲187</b>	+260
法人税等	0	0	0	0	+0
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	▲186	▲235	▲448	<b>▲188</b>	+260

## 第22回新株予約権の行使により、**173百万円**を調達

単位：百万円

	前期 4Q末	当期 2Q末
<b>流動資産</b>	1,573	<b>1,164</b>
現金及び預金	1,174	752
売掛金	350	341
その他	47	69
<b>固定資産</b>	358	<b>130</b>
有形固定資産	39	36
無形固定資産	158	3
投資その他の資産	160	90
<b>資産合計</b>	1,932	<b>1,294</b>
<b>自己資本比率</b>	14.3%	<b>1.0%</b>

	前期 4Q末	当期 2Q末
<b>流動負債</b>	725	<b>701</b>
買掛金	230	252
借入金	300	300
その他	194	148
<b>固定負債</b>	925	<b>575</b>
長期借入金	150	-
転換社債型新株予約権付社債	775	575
<b>負債合計</b>	1,650	<b>1,276</b>
資本金等	2,995	3,369
利益剰余金	▲2,712	▲3,348
新株予約権	5	4
その他	▲7	▲7
<b>純資産等合計</b>	281	<b>17</b>
<b>負債・純資産等合計</b>	1,932	<b>1,294</b>

### <第2四半期までの資金調達状況>

第1回無担保転換社債型新株予約権付社債  
転換済み17個（残数23個）

■ 第22回新株予約権  
行使済み366,600株（残数3,063,400株）

1. 2020年9月期 2Qサマリー

2. 2020年9月期 2Q業績概要

3. 各事業の状況 & 事業戦略



## 2020年9月期 事業への影響は軽微

新型コロナによる影響はプラスとマイナスの両面あるものの、全体的には2020年9月期 業績予想への影響は軽微とみている

※業績予想に影響があると認められた場合は、速やかに開示します

	プラス面	マイナス面
ゲーム事業	○ 1人あたりの滞在時間が増加	✕ ユーザーの課金控えが発生
広告事業	○ インプレッション数の増加 (ADroute/アドルート)	✕ イベント中止、認知系の広告 予算の抑制などが発生
ブロックチェーン ゲーム関連事業	○ Blockchain Game infoのPV数の増加	

## 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取り組み内容

感染リスク軽減と安全確保、事業継続を目的に下記を実施

### 勤務について

- ・パートナー(業務委託等)を含む全スタッフの在宅勤務を強く推奨
- ・時差通勤の活用
- ・発熱など体調不安時は出社禁止

### その他

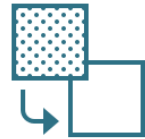
- ・社内ファシリティの消毒を毎日実施
- ・社内にアルコール消毒液を設置
- ・トイレにペーパータオル設置

### 会議、イベント等について

- ・社内外会議のオンライン開催を強く推奨(オンライン会議システムを導入済み)
- ・来客受け入れの自粛
- ・国内外の出張自粛
- ・自社主催リアルイベントの自粛
- ・他社主催リアルイベントの参加見合わせ
- ・新卒社員共通研修のオンライン開催
- ・採用面接のオンライン実施
- ・社内イベントのオンライン開催

### ▶対象期間について

緊急事態宣言期間中は上記を継続予定。その後は状況に応じ、検討し対策実施。



## 社会の変化

- ・ オンライン化率の向上
- ・ EC、会合、セミナー、各種手続き等
- ・ 消費、働き方、可処分時間の使い方
- ・ のべ通勤時間の大幅な減少



### 新しい産業構造

オンライン移行が更に進む

### 新しい働き方

リモートワークを前提に  
如何にパフォーマンスを  
出していくか、都市偏重  
の見直しのためのDX

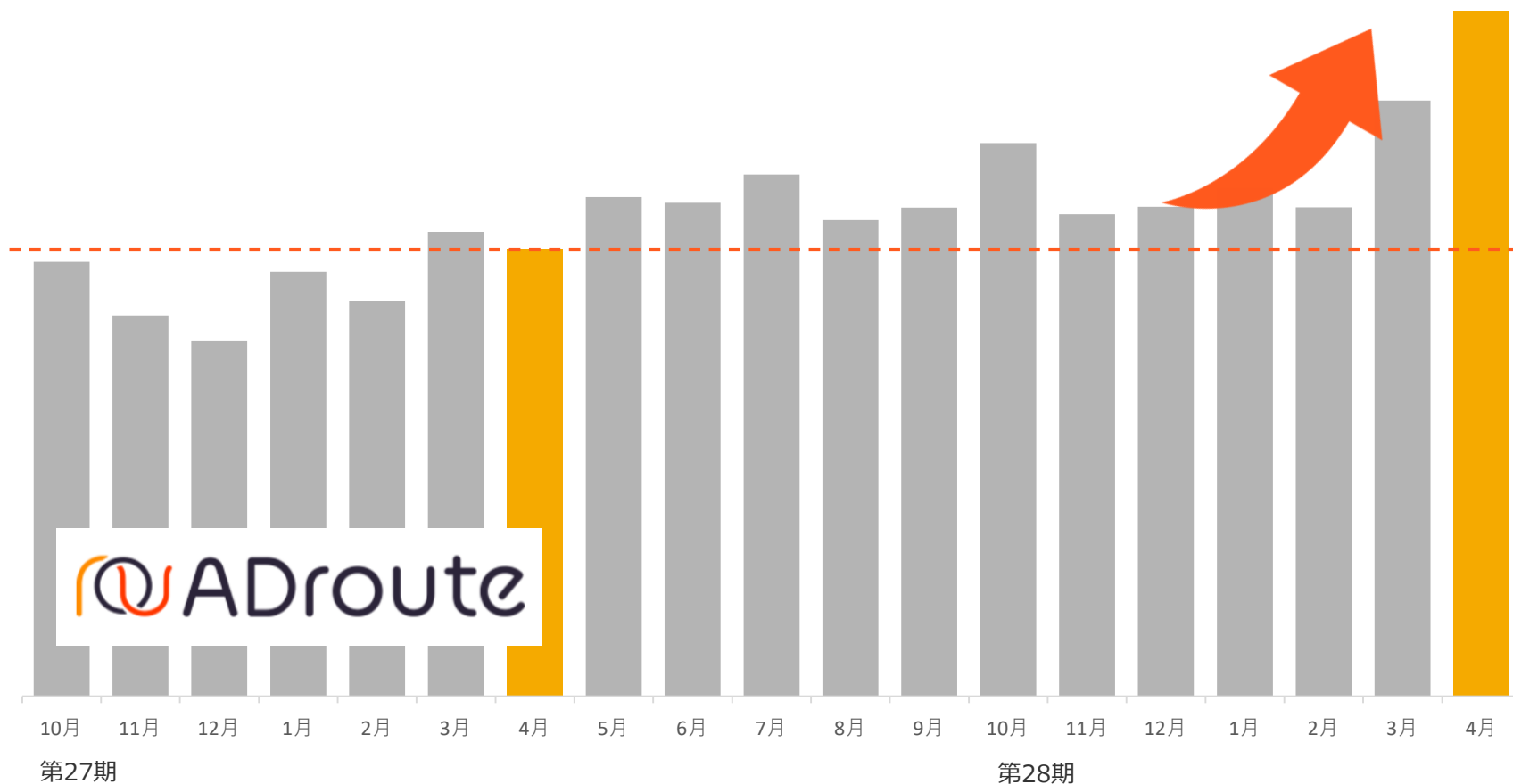
### 新しい職業

ブロックチェーン経済圏  
での仕事  
(ゲームプレイが仕事になる等)

#### DX=デジタルトランスフォーメーション

ビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること

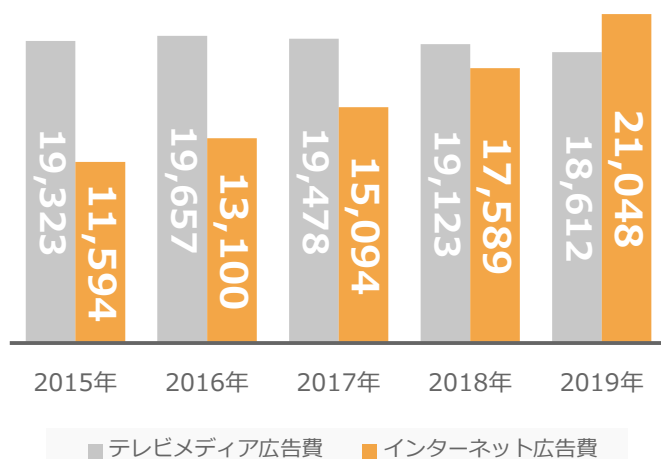
営業活動の強化により媒体数(前年同月比**118%**)、案件数(前年同月比**155%**)が増え、インプレッション数は増加傾向ではあったが、直近の在宅時間増加の影響もあり、**大幅にインプレッション数が増加**(前年同月比**153.4%**)



これまでも堅調に推移しているオンライン販売市場であるものの、**巣ごもり需要により、市場が飛躍的に拡大**することが予想される

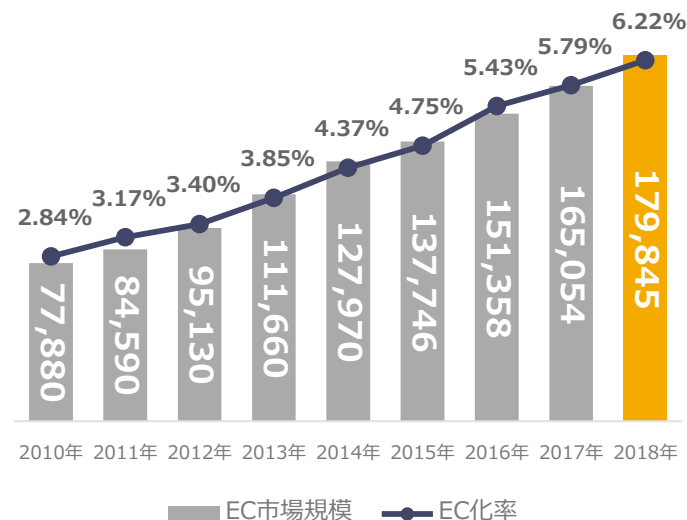
テレビメディア広告費とインターネット広告費比較

(単位：億円)



BtoCのEC市場規模とEC化率の推移

(単位：億円)



## インターネット広告費 ※1

6年連続で2桁成長を見込む(前年比128.3%)  
物販系ECプラットフォーム広告費は、  
その成長率を上回るペースで市場が拡大。

## 物販分野のBtoC-EC市場規模 ※2

市場規模は年々拡大しているものの、  
EC化率は6.2%と、今後の伸びしろが大きい分野

※1 出典：2019年日本の広告費（株式会社電通 2020年3月11日）より当社グラフ作成

※2 出典：平成30年度 我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（経済産業省 2019年5月16日）より当社グラフ作成

トレーディングデスク(広告運用代行サービス)で経験とノウハウを活かし、  
中小事業者に特化した**eコマース販売促進サービス**を開始



## 事業ポートフォリオの入替えを進めつつ、 開発・運営リスクの軽減 & コスト抑制・コントロールの実施



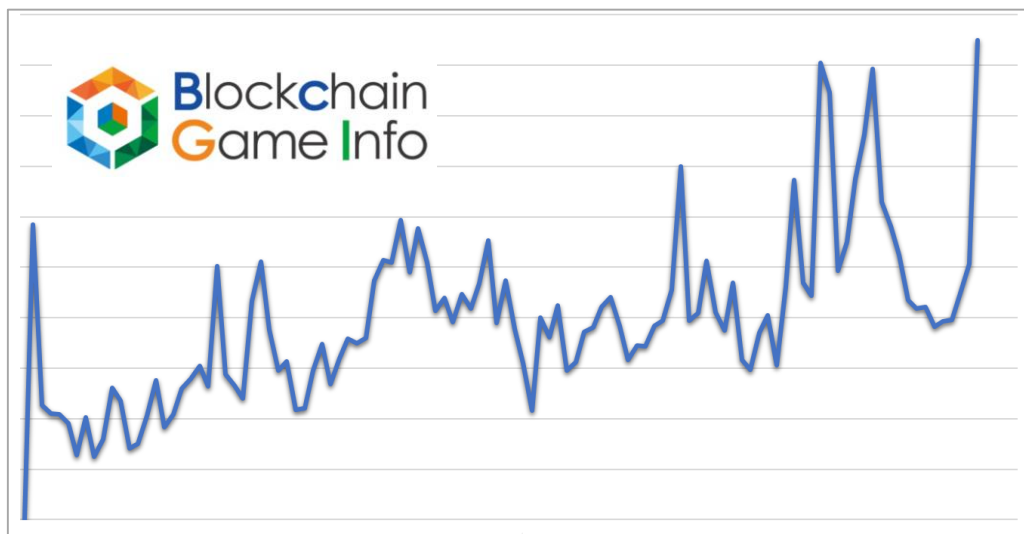
### ● スマホゲームの自社開発から受託開発モデルへ移行

- ・ 既に複数の会社と交渉を進め、複数案件受注見込み
- ・ 既存タイトルは運営体制の見直しにより収益力の強化を図る

### ● コストの抑制・コントロールの実施

- ・ 広告宣伝費の抑制
- ・ 外注費・労務費のコストコントロール

在宅時間増加により、Blockchain Game infoのPV数増加。  
金融市場相場下落が影響し個人投資家が増加、需要により機能拡充。



Blockchain Game Infoのページビュー推移（週次）



## 資産評価&管理ツール「アセットアナライザー」に新機能追加

保有するブロックチェーンゲームアセット（資産）の**市場価値をリアルタイムに確認**出来る新機能を提供開始！



オンライン化率向上により、あらゆるモノがネットワークにつながり、データがやりとりされる IoTの世界への加速。

## 交通インフラ

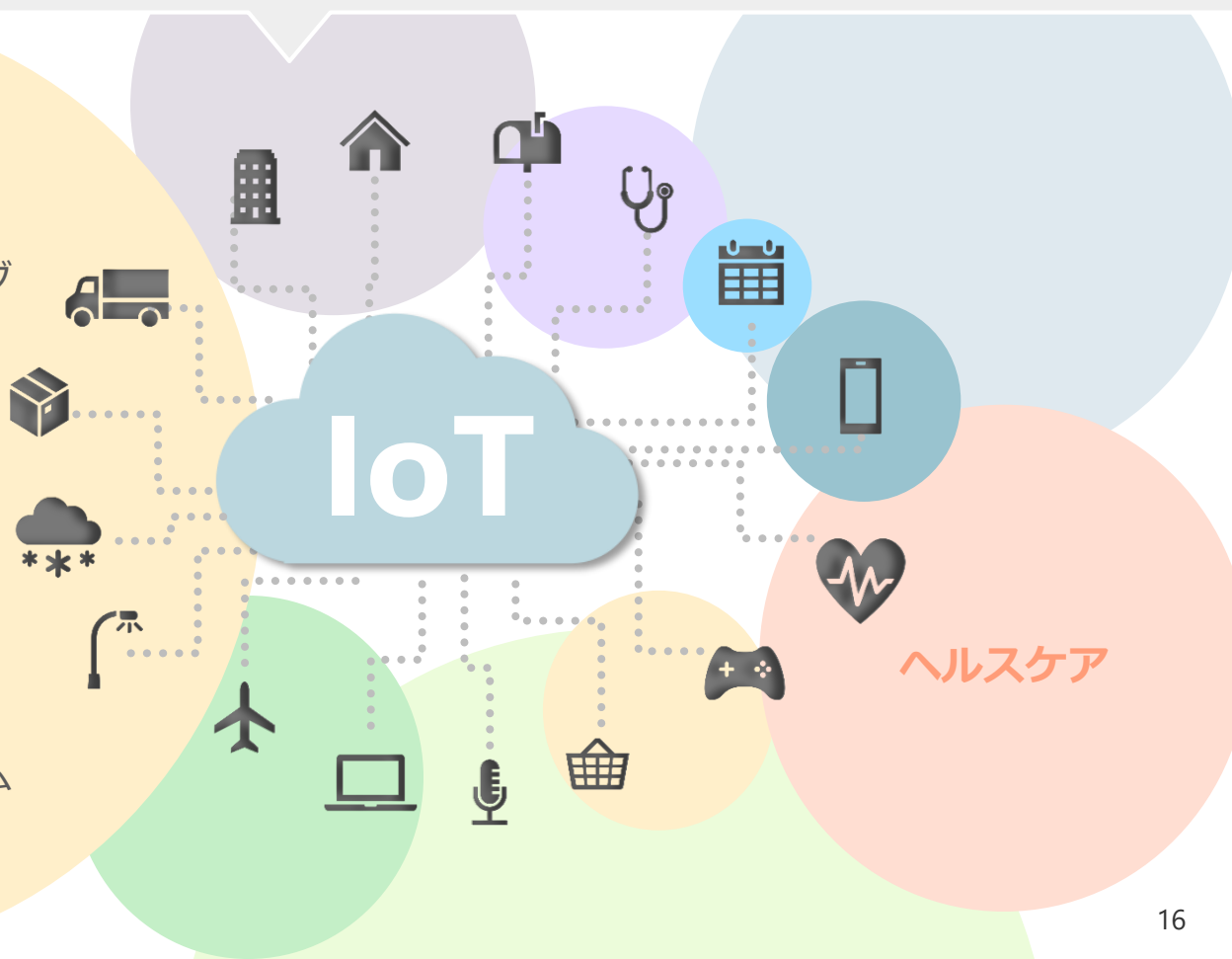
- 積雪深自動モニタリングシステム

積雪深自動モニタリングシステム

# YUKIMI

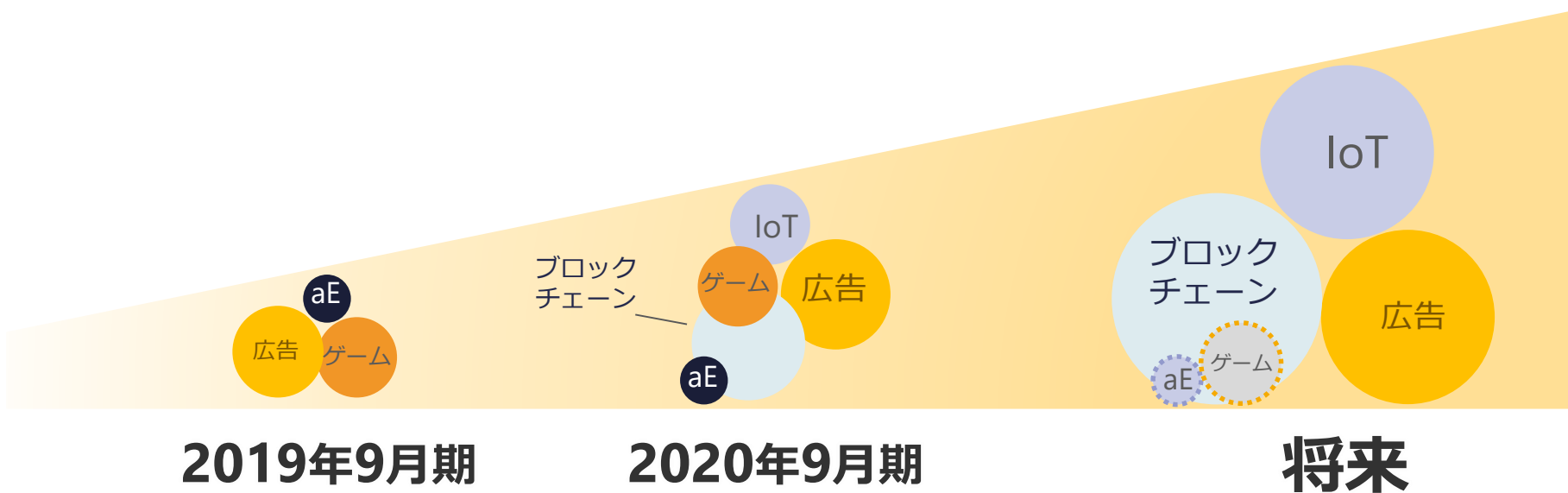
30自治体で  
実証実験完了。  
来シーズン導入に  
向けて調整。

- 除雪車動態管理システム



## アフター(after)コロナ時代の 事業推進スタイルの確立

インターネットサービス、IoTへの影響は現在のところ**軽微**  
ウィズ (with) コロナ、アフター(after)コロナの  
社会変革に合わせた事業展開を検討。



「楽しい」で世界をつなぐ



当資料はアクセルマーク株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。

当資料は当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが、当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

最新情報やお問い合わせは下記のコーポレートページよりお願いいたします。

<https://www.axelmark.co.jp/ir/>